

主な研究活動

運営委員会

2018年度

- 第4回 2018年7月24日 (1) 研究員人事、(2) 第3回公開研究会、(3) 非文字資料研究叢書 vol.2
 第5回 2018年9月26日 (1) 共同研究予算の追加予算申請について、(2) 招聘研究員、(3) 10周年記念シンポジウム、(4) 第4回公開研究会、(5) 海外提携研究機関との覚書更新
 第6回 2018年10月24日 (1) 2018年度予算の執行状況、(2) 2019年度予算(案)、(3) 研究員人事、(4) 海外神社跡地写真展企画
 第7回 2018年11月28日 (1) 招聘研究員、(2) 提携研究機関とのネットワーク強化、(3) 日本児童文学学会賞受賞記念祝賀会、(4) 10周年記念シンポジウム、(5) 2019年度研究体制、(6) 2018年度事業報告・2019年度事業計画
 第8回 2019年1月23日 (1) 2019年度研究班体制、(2) 2019年度招聘・派遣事業実施要項(案)、(3) 2019年度「奨励研究募集要項(案)」
 第9回 2019年2月22日 (1) 2018年度事業報告、(2) 2019年度事業計画、(3) JAIRO Cloud

研究員会議

2018年度

- 第2回 2018年10月31日 (1) 2018年度予算執行状況、(2) 2019年度予算(案)、(3) 研究員人事、(4) 10周年記念シンポジウム
 第3回 2018年12月26日 (1) 2019年度研究班体制、(2) 2018年度事業報告・2019年度事業計画、(3) 10周年シンポジウム、(4) 2018年度海外提携研究機関との招聘・派遣事業、(5) 海外神社跡地写真展
 第4回 2019年1月23日 (1) 2019年度研究班体制(人事)、(2) 2019年度「若手研究者派遣実施要項(案)」、(3) 2019年度奨励研究募集要項(案)、(4) JAIRO Cloudについて
 第5回 2019年2月22日 (1) 2018年度事業報告、(2) 2019年度事業計画、(3) JAIRO Cloudについて、(4) 刊行物進捗状況

研究会

公開研究会

2018年度

- 第2回公開研究会「円卓会議 中国・上海都市研究の新動向」2018年11月9日・10日
 第3回公開研究会「戦前の青島と日本」2018年11月30日
 第4回公開研究会「中国 文化大革命を振り返る-日本人はどう受け止めたのか」2019年2月2日
 第5回公開研究会「非文字資料研究の過去・現在・未来」(10周年記念シンポジウム) 2019年2月16日

研究班研究会

2018年度

- 第3班 第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業 2018年5月23日、7月31日
 第4班 日本近世生活絵引-行列から見る都市生活空間- 2018年9月22日～23日、2019年3月2日～3日
 第5班 東アジア開港場(租界・居留地)における日本人の諸活動と産業 2018年8月20日
 第9班 戦時下日本の大衆メディア研究 2018年7月28日、11月10日、12月26日、2019年3月18日

現地調査

共同研究班	日程	場所
戦時下日本の大衆メディア研究	6月1日～6月5日	亀岡市文化資料館、信光寺、砥鹿神社
東アジア開港場(租界・居留地)における日本人の諸活動と産業	7月10日	北海道大学文学部
非文字資料研究のコミュニティにおける知識とサービスの効果的な検索と安心安全な流通研究	9月18日～9月19日	只見町教育委員会
戦時下日本の大衆メディア研究	11月24日	文教大学越谷キャンパス
戦時下日本の大衆メディア研究	12月25日	日本教育会館教育図書館
東アジア開港場(租界・居留地)における日本人の諸活動と産業	12月5日	東京都千駄木
戦時下日本の大衆メディア研究	11月23日	信州戦争資料センター、市立須坂図書館
絵画・版画・写真に見られる19世紀ヨーロッパの都市生活	12月21日～12月31日	ミュンヘン市立博物館、大司教区
戦時下日本の大衆メディア研究	12月22日	静岡県立附属図書館
中世景観復元学の試み —北九州市若松区の惣牟田集落を事例として—	2019年 2月9日～2月11日	尾道市、北九州平和資料館
戦時下日本の大衆メディア研究	2月15日～2月18日	兵庫県立歴史博物館、徳島県立公文書館
第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業	2月16日～2月18日	海の見える杜美術館(広島県)
第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業	3月7日～3月9日	台湾国立故宮博物院図書文献館
近代沖縄における祭祀再編と神社	3月13日～3月16日	沖縄県石垣市の八重山神社跡など
戦時下日本の大衆メディア研究	3月17日～3月18日	新所沢、他
東アジア開港場(租界・居留地)における日本人の諸活動と産業	3月18日～3月19日	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業	3月18日～3月19日	上海師範大学、江蘇省蘇州市

文化大革命ポスター展示
 (新島淳良氏寄贈コレクション)
 2019. 1/15 (火) ~ 2/25 (月)
 神奈川大学横浜キャンパス図書館展示コーナー

シンポジウム
 (神奈川大学文学資料研究センター 2018年度第4回公開研究会)
 2019. 2/2 (土) 13:00-18:00
 神奈川大学横浜キャンパス3号館405号室



◆開催趣旨◆

非文字資料研究センターでは、中国教育史の専門家で文化大革命（以下、文革）について発言することが多かった新島淳良氏が1967、8年に収集した文革ポスター200枚余を、3年前に奥様から寄贈され、修復作業を進めてきたが、その作業が一段落したことから、ポスターの一部を、神奈川大学が所蔵する関連資料および複数の方から提供された貴重な資料と共に公開展示する。

非文字資料研究センター客員研究員 大里浩秋



革命造反派は団結し、プロレタリア階級文化大革命を徹底的に進めよう!



全国のプロレタリア階級文化大革命の形勢は大いに良いのであり、少しだけ良いというのではない、全ての形勢が今までのいかなる時と比べても良い、形勢が大いに良いとする重要な目安は、人民大衆が十分に立ち上がっていることにある。かつての大衆運動は今回のように広範囲かつ深く発動したものではなかった。(毛沢東)



毛主席の革命的文艺路線に従い勝利前進しよう



文艺战线是确的在革命这一条战线全体中的一块组成部分として、人民を团结させ、人民を教育し、敵に打撃を与え、敵を消滅する有力な武器として、人民が一心同体となって敵と闘うのを助けるものとしなければならない。

(延安文艺座谈会における講話 毛沢東)



多くの方に資料提供等ご協力いただき、充実した展示となりました。ご協力に深く感謝いたします。シンポジウムの開催報告は、次号ニューズレターに掲載する予定です。

新国立劇場で、当センター所蔵の「国策紙芝居」が展示されました。

特別展示「神奈川大学 日本常民文化研究所 非文字資料研究センター所蔵〈国策紙芝居〉」

◆開催概要◆

【日 程】2018年6月4日(月)～24日(日)

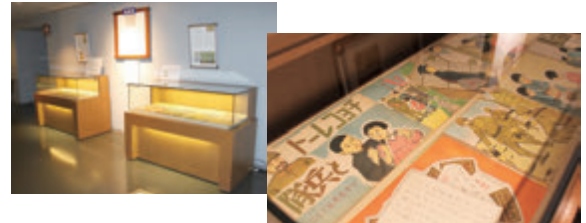
【展示作品】「軍神の母」「アングロ島攻撃」「チョコレートと兵隊」「敵だ！倒すぞ米英を」「風呂屋の大ちゃん」

【場 所】新国立劇場5F情報センター内閲覧室、および小劇場ホワイエ

小劇場では、2018年6月4日(月)～24日(日)まで、演劇公演「夢の裂け目」(井上ひさし作、栗山民也演出)が上演され、この作品の主人公が紙芝居屋であることから、当センターに貸し出しの依頼が

ありました。

新国立劇場のご担当者より、「ご来場のお客さまは、作品と関連のあるその当時の本物を興味深そうにご覧になっています。舞台やその背景をより理解していただけるよい機会になったと感じております。」とのコメントをいただきました。



『国策紙芝居からみる日本の戦争』（「戦時下日本の大衆メディア研究」班代表・安田常雄 編著）が、日本児童文学学会特別賞を受賞しました。

受賞に際し、班代表の安田常雄特任教授は「思いがけない受賞でびっくりしていますが、研究は今後とも続きますので大変励みになりました。また今まで光が当たらなかった国策紙芝居ですが、新聞や書評等で取り上げていただいたこともあり、“実は家にあります”などの声も寄せられ、現在は241点所蔵をしていますが、この受賞をきっかけにさらなる研究の推進になったらうれしく思います」とコメントされました。

【受賞作品】

『国策紙芝居からみる日本の戦争』（非文字資料研究センター第3期研究成果報告書）勉誠出版、2018年2月28日

非文字資料研究センター「戦時下日本の大衆メディア研究」班代表・安田常雄 編著

【贈賞の理由】

本書は、戦後その多くが散逸して不明であった「国



『国策紙芝居からみる日本の戦争』

策紙芝居」の詳細な調査結果に基づく「解題篇」「論考篇」「データ編」から成り、これまで明らかにされていなかった「国策紙芝居」の全体像とともに、戦時下の紙芝居制作の背景や子どもたちの享受の状況を浮かびあがらせたその意義は大きく、今後の児童文学・児童文化研究に資するものである。

（「第42回日本児童文学学会賞の決定について」日本児童文学学会 2018年10月より抜粋）



授賞式 日本児童文学学会第57回研究大会（2018年11月24日）



班メンバーの松本和樹氏と安田常雄特任教授

編集後記

今号は公開研究会報告と研究会報告が各2点、研究調査報告が5点、連載が4点。研究会活動や研究員の研究動向や最新研究の情報も盛り込まれています。また、海外提携研究機関紹介は韓国の仁川大学中国・華僑文化研究所で、同大学の李正熙教授が執筆。海外機関の在り方は今後の非文字資料研究センターの在り方を考えるための情報を提供してくれると思います。昨年（2018年）は「戦時下日本の大衆メディア研究」班の研究成果『国策紙芝居からみる日本の戦争』が日本児童文学学会特別賞を受賞するうれしいニュースがありましたが、その話題も紹介しています。最終ゲラを読みながら、ひとあし早くいろいろ教えられ、視野を広げさせてもらいました。視点や分野、対象の広がりもこのニューズレターの魅力だと思います。(A.S)

表紙説明

中世の景観を今に残す北九州市若松区惣牟田の棚田の風景です（西田宣昭氏撮影）。周辺には「殿様の屋敷跡」と伝えられる場所があり、そこから川を見下ろす先に「踊り田」という小字名の土地もあります。「屋敷跡」に住んだ武将は、惣牟田に居を構え、若松で没した黒田官兵衛二十四騎の一人竹森石見守次貞の嫡男竹森清左衛門貞幸と考えられます。近くの小石本村に寛政2年（1790）に再建された同人の墓石が現存しています。「踊り田」のそばには貞幸の弟竹森新右衛門利友（次貞の8男）の末裔九右衛門政直とその家族や墓守の墓石群もあります。さらに、惣牟田入り口の山の中に「新右衛門抱山」と刻銘された利友に関する石碑が存在するなど、惣牟田には戦国期の歴史が随所に散りばめられています。表紙の墓石は、博多の妙楽寺にある貞幸の実父次貞(左)と、貞幸の嫡男貞右衛門三安(右)のもので、(S.T)